

新商品

No. SEC-25-030

2025 年 7 月 22 日

報道取材や制作現場での運用性を高め、動画への真正性情報の記録にも対応
4K 3 板式 CMOS センサー搭載 XDCAM ハンディカムコーダーのフラッグシップモデル発売
～ネットワーク機能を強化し、AI による被写体認識機能も搭載～



XDCAM™メモリーカムコーダー『PXW-Z300』

ソニーは、1/2 型 4K 3 板式 CMOS イメージセンサー Exmor R® (エクスマアール) と、最新の画像処理エンジン BIONZ XR™ (ビオンズ エクスアール)、AI 処理専用のプロセッシングユニットを搭載し、3 連リングのフルマニュアルレンズを備えた XDCAM™ ハンディカムコーダーのフラッグシップモデル『PXW-Z300』を発売します。

本機は、優れた映像描写と幅広いオペレーションに対応する撮影性能を両立します。4K 60p の高画質記録に加え、AI による被写体認識で高精度なオートフォーカスに対応するほか、柔軟な撮影スタイルを実現する「フレキシブル LCD アーム」や、スマートフォンやデータトランスミッターを本体に直接装着可能な「サイド V マウント」を新たに備えます。また、通信デバイスを活用したネットワーク機能も強化し、撮影現場からのライブストリーミング配信や、収録したファイルのネットワーク伝送など、5G やクラウド技術を活用した映像制作ワークフローの実現をサポートします。

なお、本機はカムコーダーとして世界で初めて*1、動画への真正性情報の記録にも対応します*2。ソニーは、本機の発売を通じて、コンテンツの信頼性の向上を始めとする、多様化する映像制作業界のニーズに応えます。

*1:カムコーダーにおける、動画での C2PA 規格対応として。2025 年 7 月時点。ソニー調べ。

*2:動画への真正性情報の記録には、別途アップグレードライセンスが必要です。本ライセンスは提供地域が限られます。対応する動画フォーマットは MP4 形式です。

商品名	型名	発売日	メーカー希望小売価格
XDCAM メモリーカムコーダー	『PXW-Z300』	2025 年 9 月下旬以降	1,197,900 円(税込) 1,089,000 円(税別)

●『PXW-Z300』の主な特長

1. 優れた映像描写に加え、幅広いオペレーションに対応する撮影性能

1/2 型 裏面照射型 4K 3 板式 Exmor R CMOS センサーと画像処理エンジン BIONZ XR を搭載し、優れた色分解性能と F12^{※3} の感度、被写体の質感やディテールを忠実に再現する 4K 60p 撮影が可能です。レンズには、開放 F 値 F1.9 の光学 17 倍、マニュアルで回転角度による直感的な操作が可能な 3 連リングのフルマニュアルレンズを採用しています。デジタルエクステンダーを使用すると、4K 撮影時には 1.5 倍、HD 撮影時には解像度の劣化が少ない最大 4 倍の高倍率ズームが可能となり、報道取材やイベント記録などの幅広い撮影シーンに対応します。

また、フィルターの透過率を 1/4 から 1/128 までシームレスに変更できる電子可変 ND フィルターおよび、光学式手ブレ補正機能を備えます。明るい屋外から暗い室内など明るさの異なる場所を移動しながら撮影するシーンでも、スムーズに明るさを調整しながらブレの少ない撮影が可能です。

なお、本機は、画像処理エンジンに加えて、AI 処理に特化したプロセッシングユニットを搭載しています。顔や瞳、骨格や姿勢などの情報に基づいた高精度な被写体(人物)認識が可能となり、後ろ姿やマスクを着けた人物でもオートフォーカス撮影が可能なることに加えて、カメラが自動的に構図を調整し、被写体(人物)を中心に捉えるオートフレーミング機能も備えています。

※3:4K 時は High Sensitivity モード、HD 時は Normal モードで F12 の感度となります。



新開発のフレキシブル LCD アームの使用イメージ



左:サイドVマウント
右:データ外ランスミッター装着イメージ

LCD モニターには 3.5 型で約 276 万画素の高輝度 LCD を採用し、明るい場所でも高い視認性を発揮します。また、新開発の 3 軸可動アーム「フレキシブル LCD アーム」により、モニターの向きや角度を柔軟に調整することが可能です。カメラを肩に載せた撮影スタイルにおいてモニターとの視距離を調整したり、カメラ光軸中心に LCD モニターを配置して腹部固定で構えたり、前方に反転させてセルフ撮影を行えるなど、さまざまな撮影スタイルに対応します。

また、筐体側面に新たに採用した、V マウントアタッチメント「サイド V マウント」は、カメラアクセサリに加えて、スマートフォンやデータランスミッターなどの伝送端末をワンタッチで一体的に装着することが可能です。

2. ネットワーク機能を強化し、即時的かつ効率的な映像制作ワークフローを実現

本機はスマートフォンまたは Wi-Fi/有線 LAN との接続により、撮影現場から収録素材を即座に転送したり、ライブストリーミングを行えたりするなど、5G やクラウド技術を活用した新たなワークフローに対応しています。収録素材はネットワークを介して、高画質かつ高圧縮率のフォーマットでクラウド上の素材共有サービスやオンプレミスのストレージに転送することが可能です。低解像度のプロキシ素材の伝送においては、新たに HEVC コーデック^{※4}にも対応し、より高画質、高圧縮率で転送できることに加え、チャンク形式(分割記録)で撮影中にクリップを転送することもできます。撮影終了後にメディアを取り出してから素材を送るといった作業を経ず、すぐに編集作業を開始できます。

RTMP/RTMPS や SRT などの主要な映像ストリーミングプロトコルにも対応し、動画配信サイトに接続することで、撮影現場からライブ配信を行うことができます。ポータブルデータランスミッター『PDT-FP1』(別売)を「サイド V マウント」に装着して本機と接続することで、より安定した通信で映像素材を伝送するという運用も可能です。

また、クラウド素材伝送サービス「C3 Portal(シースリーポータル)」やクラウドメディアストレージ「Ci Media Cloud(シーメディアクラウド)」などのクラウドサービス^{※5}を活用することで、報道ファイルベースシステムとの連携や、プロジェクトメンバー間での素材共有や共同作業を可能としたり、クラウドスイッチャー「M2 Live(エムツーライブ)」との組み合わせで複数台カメラによるライブ配信を行ったりといった、より即時的かつ効率的な映像制作ワークフローの実現をサポートします。

※4:HEVC 9Mbps、HEVC 16Mbps から選択できます。HEVC 6Mbps は今後対応予定です。

※5:別途有償契約が必要です。詳細は「CREATORS' CLOUD for Enterprise」サイトをご確認ください。

https://www.sony.jp/professional/creators-cloud/?s_pid=jp/professional/products_menu/_b2b_products_products_menu_products_cloud_pp

3. 幅広いコンテンツ制作に対応する各種記録フォーマットやルックへの対応

本機はニュース映像やドキュメンタリーを始めとした幅広い映像制作での活用を想定し、さまざまな記録フォーマットに対応しています。XDCAM シリーズで採用している「MPEG HD422」や「XAVC Intra(4K/HD 4:2:2 10bit)」、 「XAVC Long(4K 4:2:0 8bit/HD 4:2:2 10bit)」の MXF ファイル記録に標準で対応することに加え、MP4 でのプロキシ記録にも対応しています。

また、本機は多様なルックにも対応します。Cinema Line シリーズや XDCAM、HDC シリーズで選択できる「S-Cinetone™(エスシネトーン)」や「ITU709」「709tone」に加え、「HLG Live」「HLG Mild」「HLG Natural」やユーザー3D LUT に対応し、メモリーカードや「C3 Portal」からユーザー独自の 3D LUT(.cube ファイル)を取り込むことができます。

モバイルアプリケーション「Monitor & Control」にも対応し、スマートフォンやタブレット端末からアングルの確認やカメラの設定やリモコン操作を行うなど、マルチカメラ環境での撮影をサポートします。

4. カムコーダーとして世界で初めて^{※1}動画への真正性情報の記録に対応

本機は、真正性情報を記録する C2PA^{※6} 規格に対応します。カムコーダーとして世界で初めて^{※1} 動画に電子署名を付与して記録することが可能です^{※2}。静止画で対応してきた真正性への取り組みを動画にも拡大することで、近年報道機関から求められるコンテンツの信頼性向上のニーズに貢献していきます。

※6:Coalition for Content Provenance and Authenticity。デジタルコンテンツの出所と信ぴょう性に対し、オープンスタンダードと技術仕様を策定する標準化団体。

詳細については、こちらからご確認ください。

・商品サイト:<https://www.sony.jp/xdcam/products/PXW-Z300/>

・特設サイト:<https://www.sony.jp/xdcam/spl/z300/>

『PXW-Z300』は中国・北京で現地時間 2025 年 7 月 22 日(火)から開催される、「Beijing International Radio, TV & Film Exhibition 2025(BIRTV)」での展示を予定しています。

※「ソニー」および「Sony」、並びにこのプレスリリース上で使用される商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは商号です。

※本リリース上の画像は、権利の都合上予告なく公開を取り下げる場合があります。

※報道関係からのお問い合わせ先: ソニー(株)広報部 メールアドレス: Sony.Pressroom@sony.co.jp

※お客様からのお問い合わせ先: ソニーマーケティング(株) 業務用商品購入相談窓口

TEL 0120-580-730(フリーダイヤル)

受付時間 9:00~18:00(土・日・祝日、当社休業日は除く)

■ ソニー製品情報サイト: <https://www.sony.jp/professional/>